

# 水俣病が問いかける課題

2023

3.4

土曜日

14:00-16:30



高岡 滋 先生

医師／1961年、山口県岩国市生まれ。1985年、山口大学医学部医学科卒業。1991～93年、順天堂大学脳神経内科にて神経内科研修。1993年、水俣協立病院院長。2002年、神経内科リハビリテーション協立クリニック院長。専門は、一般内科、神経内科、リハビリテーション科、精神科。日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会神経内科専門医、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医、日本医師会産業医、臨床心理士。ノーモア・ミナマタ国賠訴訟など各地の水俣病訴訟での原告患者側証人。

水俣病は、チッソ水俣工場から排出されたメチル水銀化合物により汚染された魚介類を多食したことで発生した公害病です。これまでの裁判で行政と原因企業が裁かれ、一定の患者は救済されてきたものの、国は間違った水俣病認定基準を維持し、いまだに多くの患者が放置されています。

高岡医師は、36年間水俣病患者をみてきました。高岡医師の所属する医師団は、裁判などの戦いを通じて水俣病の病像を解明し、6万人以上の患者の救済に大きな役割を果たしてきました。最近の水俣病裁判で原告患者側の敗訴が続いていますが、それは被告国側の医師証人が不作為の結果として水俣病に対して間違った証言をしていることも一因です。

このような現象の根底には、1960年代から現在まで連綿と続く、国に取り込まれた医学者の不作為があります。これまで、きちんと説明されることのなかったその諸事実を、水俣病発生当時から今現在まで明らかにしたのが高岡医師の「水俣病と医学の責任」です。

今回、水俣病を軸として、医学とは何か、専門家とは何か、行政との関係はどうあるべきか、差別とはなにか、環境と私たちの関係などの諸問題について考える場にしていだければと思います。

オンライン

新医協新春の集い

参加費

一般 ¥1000

新医協会員 ¥500



書籍紹介

水俣病と医学の責任  
隠されてきた  
メチル水銀中毒症の真実

著者：高岡 滋／発行：大月書店 2022年  
12月／定価：本体 2,700円＋税

新医協（新日本医師協会）

定員

オンライン 80 名



←新医協 HP より申込



Peatix より申込→

申込締切

2月28日（火）

申込方法

メール [kouen@shinikyo.com](mailto:kouen@shinikyo.com) でお申込後、折返しのメールにてお伝えします各種銀行口座へ、参加費をお振込み下さい。

◎ご入金確認後に受講票（ID,PW）等をメールでご連絡いたします。

✪締切り日間近の時は必ず電話での確認をお願いします。

（代表）郵便振替  
00170 - 9 - 180753  
新日本医師協会  
通信欄に講演名・参加者名を明記ください。

お願い

当日の講演の録音・録画を禁止いたします。「顔と名前と受講番号」の画面表記をお願いしています。

なお、書籍のお求めは「大月書店」にてお求めください。

主催

新医協（新日本医師協会）

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-2 日高ビル 405  
Tel03-3988-8387 Fax03-3983-6165 HP<http://shinikyo.com>  
新医協・講演会申込専用メール [kouen@shinikyo.com](mailto:kouen@shinikyo.com)

新医協



春から夏にかけて、たくさん講演を企画しています。  
HPのそいでみてください。

新医協とは

新医協（新日本医師協会）は、第二次大戦後の1948年10月、医学界の封建制を批判し、平和の希求、国民の生命と健康を守り、保健・医療・医学研究の民主的発展をめざすことを目的に、医師・医学研究者・保健衛生従事者等により創立されました。